

麦作情報 第3号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

●気象概況（アメダス宗像より）

12月	平均気温(°C)	平年気温(°C)	降水量(mm)	平年降水量(mm)
上旬	7.0(-1.6)	8.6	29(-3)	26
中旬	5.7(-1.8)	7.5	0(-21)	21
下旬	6.9(+0.1)	6.8	20(+0)	20

12月は、全般に平年より気温が低く、上下旬は降水量が平年より少なく経過しました。

播種時期の降雨により、播種の遅れたほ場が見られ、ほ場間の生育差が大きくなっています。麦の生育状況に応じた適切な管理作業を行いましょ。

1 麦踏み・土入れ

1月12日時点では、11月中旬播種の葉齢は3.0~3.5葉期で分けつを開始しています。11月下旬~12月上旬に播種されたほ場では2.5~3.2葉期となっており、平年に比べ生育は10日程度遅れています。

(1) 麦踏み

★4葉が出る頃（例年であれば年明けから始まりますが、本年は生育が遅れているため、11月下旬播種のほ場で、1月20日頃）から始めます。2月末頃までに、ほ場がよく乾燥した日を選んで、3~4回を目安に行ってください。

(2) 土入れ

★地表面排水のための作溝を兼ねて、土入れを行ってください。

★1回目は浅く、2回目以降は麦の生長に伴って土の量を増やしましょう。

（土入れは、麦踏み前に行い、麦踏み直後には実施しない。）

2 排水対策

排水溝の溝さらえを十分に行いましょう。特に、枕地の溝と排水溝がつながるようにして、ほ場内の水が速やかに流れ出るようにしておきましょう。

3 雑草対策

気温が高めに経過し、降水量も多かったため、スズメノテッポウなどのイネ科雑草やノミノフスマ、ヤエムグラなどの広葉雑草が発生しています。雑草が目立つほ場では、次の表を参考に雑草防除を徹底してください。

対象雑草	イネ科（スズメテッポウ他）及び 広葉（ヤエムグラ、カラスノエンドウ他）	広葉のみ（ヤエムグラ、カラスノエンドウ、ミノフスマ他）
薬剤名	ハーモニー 7 5 DF 水和剤	アクチノール乳剤
使用量(10a)	5～10g	100～200ml
使用回数	1回	2回以内
希釈水量	100ℓ	70～100ℓ
使用時期	麦 1 葉期～茎立ち前まで （スズメテッポウ 5 葉期まで）	穂ばらみ期まで （雑草生育初期）

- ★カズノコグサ（湿田で発生が多い）対象にハーモニー 7 5 DF 水和剤を使用する場合は、使用量を 10g/10a とし、カズノコグサが 3 葉になるまでに使用して下さい。
- ★ハーモニー 7 5 DF 水和剤は、周辺に野菜や豆類がある場合散布できません。
使用後のタンク及び散布器具は、消石灰 500 倍液を 10 分間循環させた後、20 分間放置し、排出後清水で洗浄してください。
- ★前年カラスノエンドウが発生したほ場では必ずアクチノール乳剤を使用して下さい。
- ★カラスノエンドウは 3 月頃に発生してきますので、遅めの除草剤散布が有効です。
- ★昨年、トゲミノキツネノボタンが発生したほ場では、2 月上～中旬にハーモニー 75DF 水和剤を散布して下さい。

4 追肥（分げつ肥）

品種	追肥(10a 当たり)	追肥一発肥料の場合(10a 当たり)
チクゴイズミ	NK2 号 … 20kg	グッド IB506 … 30kg
ちくしW2号	—	グッド IB407 … 30kg
しゅんれい	NK2 号 … 15kg	—

- ★追肥の効果を高めるために、施用後は土入れを行ってください。

品種	播種時期	施用時期
チクゴイズミ ちくしW2号	1 1 月中下旬	1 月中～下旬
	1 2 月上旬	1 月下～2 月上旬
	1 2 月中下旬	2 月上旬
しゅんれい	1 1 月中～1 2 月上旬	1 月下～2 月上旬
	1 2 月中下旬	2 月上～中旬

- ★チクゴイズミでは、2 月下旬～3 月上旬頃に穂肥を施用（追肥一発肥料施用ほ場は除く）しますが、次回の麦作情報第 4 号でお知らせします。